

河川水質測定結果

1. 市内河川の測定

海や河川など（公共用水域）には、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましい基準として環境基準が定められており、本市では主要8河川（9地点）で水質汚濁の状況を把握するため定期的な監視を行っています。

（1）生活環境の保全に関する環境基準項目（生活環境項目）

現在、平野川、恩智川、第二寝屋川の3河川について、D類型のBOD環境基準（8mg/ℓ以下）が適用されていますが、これを基準にみても平成20年度測定結果（年間平均値）では、玉串川、楠根川、神武川、第二寝屋川、長瀬川本流及び長瀬川側溝で環境基準値を下回っていました。市内9地点の平均値は（7.3mg/ℓ）であり、昨年度の（8.8mg/ℓ）と比べ、減少しました。下水道の普及等により水質は改善傾向にありますが、魚がいきいきと棲めるような水質にするには、今後もより一層の対策が必要となっています。

（2）人の健康の保護に関する環境基準項目（健康項目）

平成20年度測定結果（年間平均値）では、全ての項目において全河川で環境基準を達成しました。

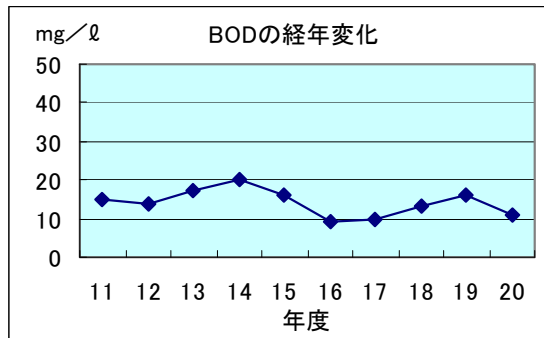


2. 河川別の水質汚濁状況

(1) 平野川

平野川は、柏原市で大和川から取水され、本市で大正川と合流し、大阪市内で平野川と平野川分水路に分かれ、ともに第二寝屋川に流入しています。環境基準はD類型に指定されています。

項目	20年度 (mg/ℓ)
BOD	11
COD	17
SS	10
全窒素	5.4
全りん	1.2



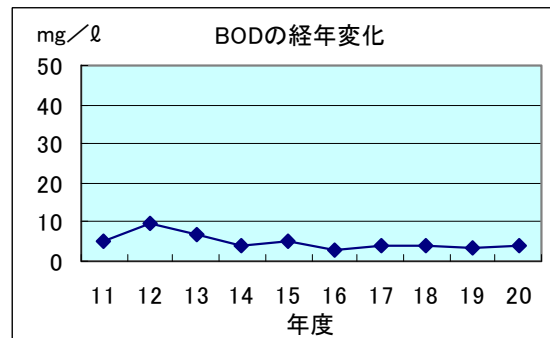
平成20年度の測定結果(年平均値。以下の河川も同じ)をみると、昨年度に比べ、BOD、SS、全窒素、全りんについては減少しましたが、CODについては上昇しています。健康項目については、全ての項目で環境基準を達成しました。

(2) 長瀬川

長瀬川は、柏原市において大和川から取水され、本市、東大阪市をとおり大阪市内で第二寝屋川に流入しています。本市域では、川の両側に工場排水や家庭排水等専用の幅約1mの都市下水路(側溝)と中央の幅3mの農業用水路(本流)の3本からなっています。

本流

項目	20年度 (mg/ℓ)
BOD	3.7
COD	8.6
SS	14
全窒素	3.4
全りん	0.43

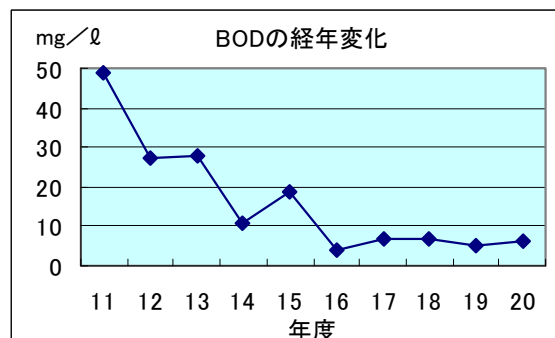


本流は、農業用水として大和川から取水しているため、水質は比較的良好です。平成20年度の測定結果については昨年度に比べ、BOD、CODについては上昇しましたが、SS、全窒素についてはやや減少しています。全りんについては横ばいとなっています。

健康項目については、全ての項目で環境基準を達成しました。

側溝

項目	20年度 (mg/ℓ)
BOD	6.5
COD	11
SS	19
全窒素	4.7
全りん	0.69



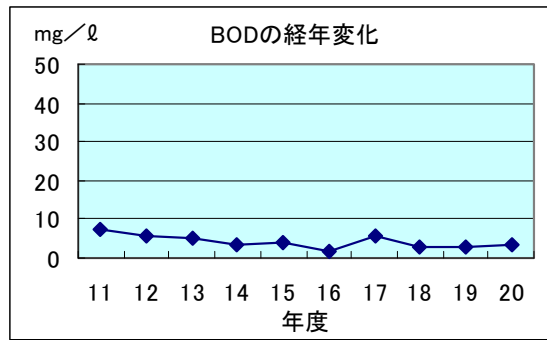
側溝については昨年度に比べ、BOD、COD、SS及び全りんについては上昇しましたが、全窒素については減少しています。

健康項目については、全ての項目で環境基準を達成しました。

(3) 楠根川

楠根川は、本市の中心部の大部分を流域にもち、北上して東大阪市で第二寝屋川に流入しています。近年下水道整備により汚濁負荷量等が減少しています。

項目	20年度 (mg/l)
BOD	3.5
COD	7.7
SS	7
全窒素	3.4
全りん	0.39



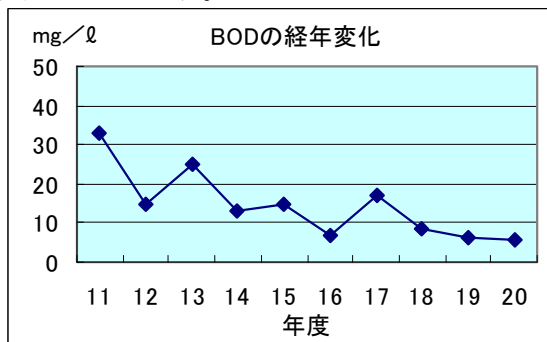
平成20年度の測定結果では昨年度に比べ、BOD、COD、SSについては上昇していますが、全窒素についてはやや減少しています。全りんについては横ばいとなっています。

健康項目では、全ての項目で環境基準を達成しました。

(4) 神武川

神武川は、植松水路とも呼ばれ、植松、跡部、亀井地区を流域にもち、大阪市内で平野川分水路へ流入しています。源流を持たず排水路として利用され、汚濁が進んでいましたが、近年は下水道整備により汚濁負荷量等は減少傾向にあります。

項目	20年度 (mg/l)
BOD	5.8
COD	9.6
SS	7
全窒素	3.7
全りん	0.42



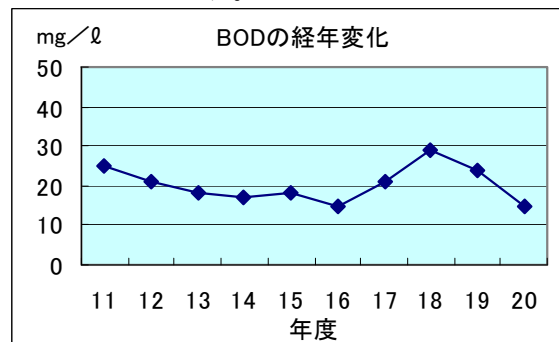
平成20年度は、昨年度に比べてBOD、SS、全窒素、全りんについて減少しており、CODについては上昇しています。

また、健康項目は、全ての項目で環境基準を達成しました。

(5) 大正川

大正川は、昔、太田水路と呼ばれ大阪市内を経て、本市内で平野川に流入しています。源流を持たないため、流量の変動が大きく汚濁も進んでいます。

項目	20年度 (mg/l)
BOD	15
COD	31
SS	10
全窒素	5.2
全りん	1.1



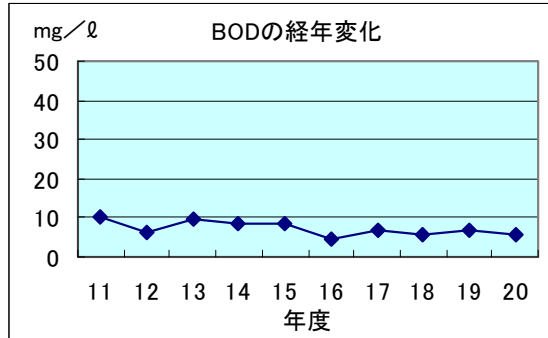
平成20年度の測定結果は、昨年度に比べてBOD、SS、全窒素、全りんについて減少しており、CODについては上昇しています。

また、健康項目では、すべての項目で環境基準を達成しました。

(6) 第二寝屋川

第二寝屋川は、治水対策が目的の人工河川で、玉串川、楠根川を受け、大阪市・東大阪市域で平野川、神武川、長瀬川と合流し、京橋を経て大川に流入しています。環境基準はD類型に指定されています。

項目	20年度 (mg/l)
BOD	5.9
COD	9.3
SS	17
全窒素	3.6
全りん	0.50



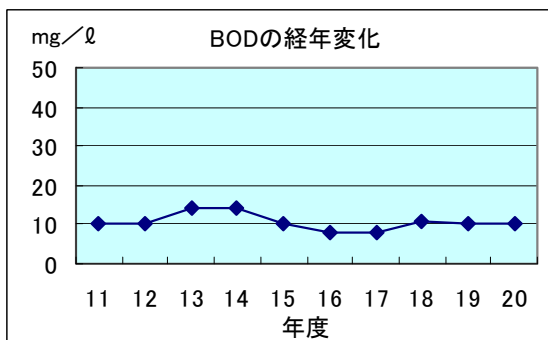
平成20年度の測定結果は、昨年度に比べて、BOD、全窒素について減少しており、COD、SS、全りんについては上昇しています。

なお、健康項目については、全ての項目で環境基準を達成しました。

(7) 恩智川

恩智川は、柏原市に端を発し、本市・東大阪市を流れ、大東市の大東新橋を経て寝屋川に流入しています。環境基準はD類型に指定されています。

項目	20年度 (mg/l)
BOD	10
COD	10
SS	17
全窒素	5.2
全りん	0.57



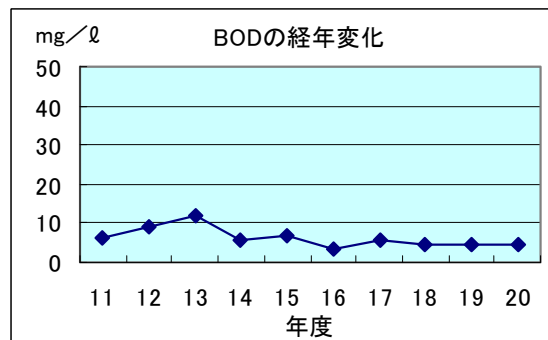
平成20年度の測定結果は、昨年度に比べて、BOD、CODについては横ばいとなっておりますが、SS、全窒素及び全りんについては減少しています。

なお、健康項目については、全ての項目で環境基準を達成しました。

(8) 玉串川

玉串川は、長瀬川から二俣分水路で分かれた農業用水路です。二俣から北上して東大阪市で第二寝屋川に流入しています。

項目	20年度 (mg/l)
BOD	4.6
COD	8.4
SS	16
全窒素	3.5
全りん	0.49



玉串川の水質は、長瀬川と同様、農業用水として大和川より取水しているため、市内河川でも比較的良好です。平成20年度の測定結果は、昨年度に比べて、BOD及び全窒素については減少しており、COD、SS及び全りんについては上昇しています。

健康項目については、全ての項目で環境基準を達成しました。

(参考)大和川 (測定地点:河内橋)

奈良県に端を發し、奈良盆地と南河内の水を集めて、大阪湾に流れ込んでいます。本市の南端を流れ、平野川、長瀬川、玉串川の水源となっています。

